



<<創刊にあたってのご挨拶>>

2018年を迎え、当院で人間ドックや健康診断を行うようになって27年目となりました。近年は健康意識の向上や市町村や健保組合による助成金の交付などもあり、受診を希望される方が増加しています。定期的な検査は生活習慣病のリスクチェックや普段気が付きにくい疾患の早期発見にもつながります。自分の健康状態を把握し、健やかな生活を送るためにも年に一度の受診をおすすめ致します。

もっと人間ドックを知ってもらいたい！そんな気持ちから、年に数回のペースでこのおたよりを発行させていただくことになりました。今後も、より多くの方に受診していただけるような環境を整えていきたいと思っております。

Q&A

当院では、人間ドックを受診された方へ定期的にアンケートを行っております。受診していただいたご感想・ご意見をお聴かせいただき、より良いサービス、医療に努めて参りたいと思っております。過去にいただいたご意見と、その後の改善策をいくつかご紹介させていただきます。

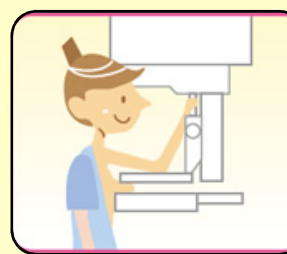
ご意見	回答
◆設備について 以前、待合室にあったマッサージチェアがなくなっていた。楽しみにしていたのでまた設置してほしい。	マッサージチェアの故障によりご迷惑をお掛けしておりましたが、昨年10月より新たに設置致しました。是非ご利用ください。
◆検査について 現在オプションで選べる乳がん検診はマンモグラフィ検査だけが、乳房超音波検査も実施してほしい。	来年度中に、オプションとして取り入れるよう検討中です。金額や予約方法についてなど、詳細が決まりましたらご案内させていただきます。
◆昼食について お弁当の内容が毎年同じなのが気になる。味付けが濃く、揚げ物が多い印象。もっと健康的なメニューにしてはどうか？	今までも定期的な見直しを行っていますが、同じようなお声を多く頂戴したため、平成30年1月よりお弁当の内容を変更しております。油脂を控え野菜中心にして、塩分とカロリーを抑えました。
◆午後の診察について 食事が終わってから診察までの待ち時間が長い。順番通りに呼んでほしい。	昨年より常勤の医師が1名増え、全日医師2名体制で対応しております。来院された順にお呼びしておりますが内容により順番が前後する可能性があります。ご理解、ご協力をお願い致します。

～お褒めの言葉もいただいております～

- 「ゆったりしていて気持ちが良い」
- 「綺麗な設備が整っていてリフレッシュすることができました」
- 「ドックがしんどいイメージではなく、年に1度元気をもらえる場になっています」
- 「毎年受けていますが、先生や看護師さん、技師さんが優しく緊張せずに受けることができます」
- 「また来年もお願いしたいです」

当院を長年ご利用いただき、人間ドックを楽しみに遠方からお越しいただいている方も多く、大変ありがたく思っております。引き続き、今後もご意見・ご感想をお待ちしております。

おすすめオプションランキング



第1位 乳房X線検査&骨塩量測定セット

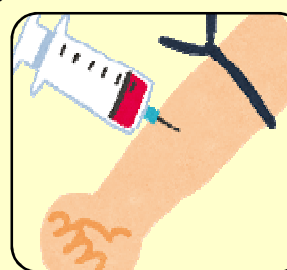
マンモグラフィ検査・・・乳がんの代表的な画像診断法。触診では発見できない小さなしこりや、しこりになる前の微細な石灰化を検出できるため、乳がんの早期発見に有効です。

骨塩量測定検査・・・骨粗鬆症は骨密度の低下をまねき「いつのまにか骨折」につながる可能性があります。予防のため、定期的なチェックをおすすめします。



第2位 頭部MRI検査

症状のない脳梗塞(無症候性脳梗塞)やくも膜下出血の原因となる未破裂動脈瘤を調べる検査です。特に高血圧、糖尿病、脂質異常症のいずれかがある人は定期的な受診がおすすめです。



第3位 腫瘍マーカー検査

腫瘍ができる健康なときには見られない物質が血液中に現れます。その物質があるかないか、増えているかいないかの目印となる検査です。大腸や胃(CEA)、肝臓(AFP)、膵臓(CA19-9)、卵巣(CA125)、前立腺(PSA)などのがん発見に有効です。

※腫瘍マーカーは高値であってもがんであるとは限りません。確定には画像診断など他の検査を同時に行い、総合的に判断する必要があります。

<<平成30年4月より、新たなオプション検査が導入されます>>

睡眠時無呼吸簡易検査

高血圧、心臓病、脳血管障害の原因となる新しい生活習慣病「睡眠時無呼吸症候群」。寝ている間に生じる無呼吸が、起きているときの活動に様々な影響を及ぼします。

大きなイビキをかく

夜中に何度も目覚める

夜間の呼吸停止

日中いつも眠い

起床時の頭痛やだるさ



上記のような症状を感じる時は一度、睡眠時無呼吸の検査を受けましょう。自宅でも取り扱い可能な機器を使って寝ている間に検査できます。詳しくはスタッフまでお尋ねください。

大腸カメラについて

日本人に急増中

生涯において、男性のおよそ10人に1人、女性はおよそ13人に1人が診断されるほど、日本人に急速に増えているのが大腸がんです。特に女性においては、がんによる死亡数の第1位となっています。40歳代から増え始め、50歳代で加速し、高齢になるほど発生しやすくなります。

40歳になったら年に1回、検診を

一般に、大腸がんは無症状なことが多く、大変気がつきにくい病気です。しかし比較的進行が遅く、早期発見により治癒率の高い疾患です。

発見に関しては、便に血が混じっているかどうかを検査する便潜血検査が有効です。特に40歳以上の方は毎年検診を受け、陽性の反応が出た時は必ず精密検査を受診しましょう。

苦痛のない大腸内視鏡検査

他のがんと比較して、大腸がんは精密検査の受診率が低いことが問題となっています。痛い、苦しいイメージの強い大腸内視鏡検査ですが、当院では静脈麻酔を用いて眠っている間に検査を受けていただくことができます。

便潜血検査の結果を踏まえ、ドック当日に大腸内視鏡検査の予約を取ることができます。結果に関係なく、ご希望される方も予約をお取りできますので、ご心配な方はお気軽にスタッフまでお声がけ下さい。

